

### 「師」のあるべき姿

大隅教育事務所管理課長 荒瀬 勝己

「我以外は、皆我師なり」

先日訪問した学校の図書室にこの言葉が掲げられていた。小説家吉川英治の有名な言葉であるが、私にとっては、初任校でお世話になった当時の校長を思い出す言葉でもある。

私の学校事務職員としてのスタートは徳之島の小学校であった。初めての仕事でおぼつかない様子を見ていた校長が、業務はもちろんのこと、金品の管理や通勤時の車の運転、心身の健康管理やリンゴの皮のむき方までさまざまな指導やアドバイスをしてくださった。その際、校長が冒頭の言葉を用いて、「周りの人から謙虚に学ぶ姿勢が大事である。また、周りもあなたのことを師として見ているのだから律して行動することが大事である。」とよく話されていた。今となって思えば、服務指導を繰り返して下さっていたのだと実感している。

時が流れて、今年度から私は服務規律について語る立場となった。今年度大隅地区では教職員の交通事故が多発しており、加害事故は昨年度1年間の発生件数を既に超え、速度違反に至っては昨年度1年間の発生件数の5倍となっている。いずれも各学校において繰り返し指導がなされているところであるが、教職員一人一人の心に響く実効性のある服務指導の難しさを痛感しているところである。

学校に勤務する全ての職員は、子供たちからするとまさに「師」であり、注目される存在である。今一度、服務規律の厳正確保について、学校に勤務する全ての職員が自分のこととして真摯に受け止め、「師」として重い責任を自覚して自らの行動規範を確立し、これからも子供たちに「師」のあるべき姿を示していただきたい。

### 安心・安全で信頼される学校～危機意識・安全意識を高めて～

#### 「いじめの問題」への対応とSNS相談窓口の周知について

いじめの認知漏れは、様々な問題に発展する可能性があります。ガイドラインや基本方針に沿った対応が重要です。認知に向けた再確認と子供たちが一人で悩むことがないようにSNS相談窓口の案内を再度お願いします。

「かごしま子供SNS相談・通報窓口」



#### 《確認事項》

- 年5回以上の実態把握
  - いじめの定義に基づいた認知
  - 3か月の見届けを通じた解消の判断
- (確認に当たっては、被害児童生徒及びその保護者に対し、面談等を行うこと)

匿名でチャット相談と学校への連絡ができます。専門的な知識を持った相談員が対応します。

#### 子供たちの気になるサインを見逃していませんか？

～事故防止は日常生活から～



廊下に飛び出していく！



靴のかかとを踏んでいる！

事故やけがは、不注意、面倒くさがり、油断等の日常生活でも見られる行動が原因となって起きています。子供たちが出すサインに気付き、適宜に指導を行うことが事故防止につながります。

～こんなサインも出ていませんか～

- ・ほうきを振り回している。
- ・ゴミ、服、帽子等が床に散乱している。
- ・靴箱の靴が揃っていない。
- ・服装が乱れている。

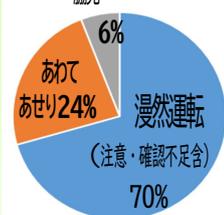
#### 交通事故・違反をなくすには

～12月は不祥事防止強化月間です～

学校が、よりよい教育活動を推進していくためには、教職員が児童生徒、家庭、地域から信頼される存在でなければなりません。

しかし、残念なことに、すでに本地区では交通事故・違反が、**17件 / 県体41件**起きている状況です。これらをなくすためには、どのような心構えが必要でしょうか。

「交通事故・違反の要因」  
臨見 R3.12.1 現在



本地区での交通事故・違反の主な要因は、**漫然運転**です。

そこで、大切なのは

- 教職員としての強い自覚をもつこと
- 服務規律を意識し、常に言動の振り返りを習慣付けること



## 学力向上を目指した授業改善～研究協力校での取組から～

本年度、研究公開を行った地区等研究協力校の取組を、大隅教育事務所が「学力向上リーフレット」の中で紹介している4つのキーワードと合わせて掲載します。

### 垂水市立垂水小学校 (地区研究協力校R2・3)

#### 研究主題

外国語でコミュニケーションを楽しむ児童の育成～外国語活動及び外国語科の指導の工夫を通して～

#### 主な内容

- 相手の話を傾聴し、表情豊かに話すことを重視・「**振り返りの4観点**（理解・内容、方法・活用、納得、意欲）」を単元全体の「**振り返りシート**」に反映



振り返り・友達からの評価

### 振り返り

【2つの軸で】  
【メタ認知力】

### 見届け

【問題が解けた】  
【「詰め」が大事】

### 論理的思考

【三角ロジック】  
【ペンタゴンロジック】

### 大隅終末ベーシック

【終末から授業をデザイン】

### 曾於市立 笠木小学校

(地区研究協力校R2・3)

#### 研究主題

「主体的・対話的で深い学び」を追究する少人数・複式指導の在り方～自他の考えを深め合う数学的活動を通して～

#### 主な内容

- ・「**ダイヤモンド・サイクル笠木小版**」の作成
- ・ガイド育成を目指した系統的な発表話形の設定
- ・**三角ロジック**や**ペンタゴン・ロジック**の自校化



ダイヤモンド・サイクル笠木小版

### 鹿屋市立 南小学校

(地区研究協力校R2・3)

#### 研究主題

主体的・対話的で深い学びを目指す複式学習指導の研究～数学的な見方・考え方を育む学習指導を通して～

#### 主な内容

- ・「**大隅終末ベーシック**」を基本とした授業設計
- ・「同時導入・同時間接指導」の工夫
- ・「**数学的な見方・考え方**」を働かせる工夫



複式5・6年授業における同時導入の様子

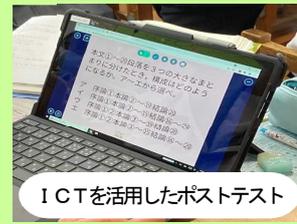
### 南大隅町立根占中学校 (教育課程研究指定R2・3)

#### 研究主題

社会を生き抜く確かな学力を育成する授業の創造～国語科における思考力・判断力・表現力等の育成～

#### 主な内容

- ・国語科を中心とした指導法改善を他教科へ波及
- ・**解答類型を伴う評価問題の作成と活用**
- ・ICTを活用した国語科の**ポストテスト**



ICTを活用したポストテスト

※ 次号では、大崎町立大崎小学校、志布志市立原田小学校、曾於市立月野小学校の研究公開の様子をお知らせする予定です。

## 資料『陽だまり』等は、年度内に活用を!!

県教育委員会では、人権教育研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会」を毎年作成し、全教職員に配布しています。(全教職員に毎年配布される資料は、他にはほとんどありません。)貴重な本資料を繰り返し活用し、自らの人権意識の高揚を図るために、とことん読み込みましょう!

令和4年(2022年)3月3日は、大正11年(1922年)の全国水平社創立から100周年を迎えます。今もなお部落差別に苦しむ人々がいる現実があります。そのような中で、平成28年(2016年)12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行された背景に思いをめぐらせてみましょう!

※12月4日から12月10日は「人権週間」、12月10日は「人権デー」です。

## 授業改善 1Pointアドバイス①

### 教師に必要な3つの目

授業を行う際、教師に必要な3つの目があります。

- ①鳥の目 → 学級全員を俯瞰する目
  - ②虫の目 → 児童生徒個々を見る目
  - ③魚の目 → 授業の流れを感じる目
- 授業中、それぞれの目を使い分け、適切な「声掛け」「意図的指名」「机間指導」「学習活動の時間調整」「学習形態の変更」等を図ることができます。